

令和3年度大船渡市社会教育委員定例会議

日 時 令和4年3月25日(金)午後1時30分
場 所 シーパル大船渡 大会議室(2階)

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 社会教育委員の紹介

4 報 告

報告第1号 令和3年度生涯学習事業の実施状況について

5 協 議

議案第1号 令和4年度社会教育関係団体への補助金交付について

議案第2号 令和4年度生涯学習事業計画(案)について

6 そ の 他

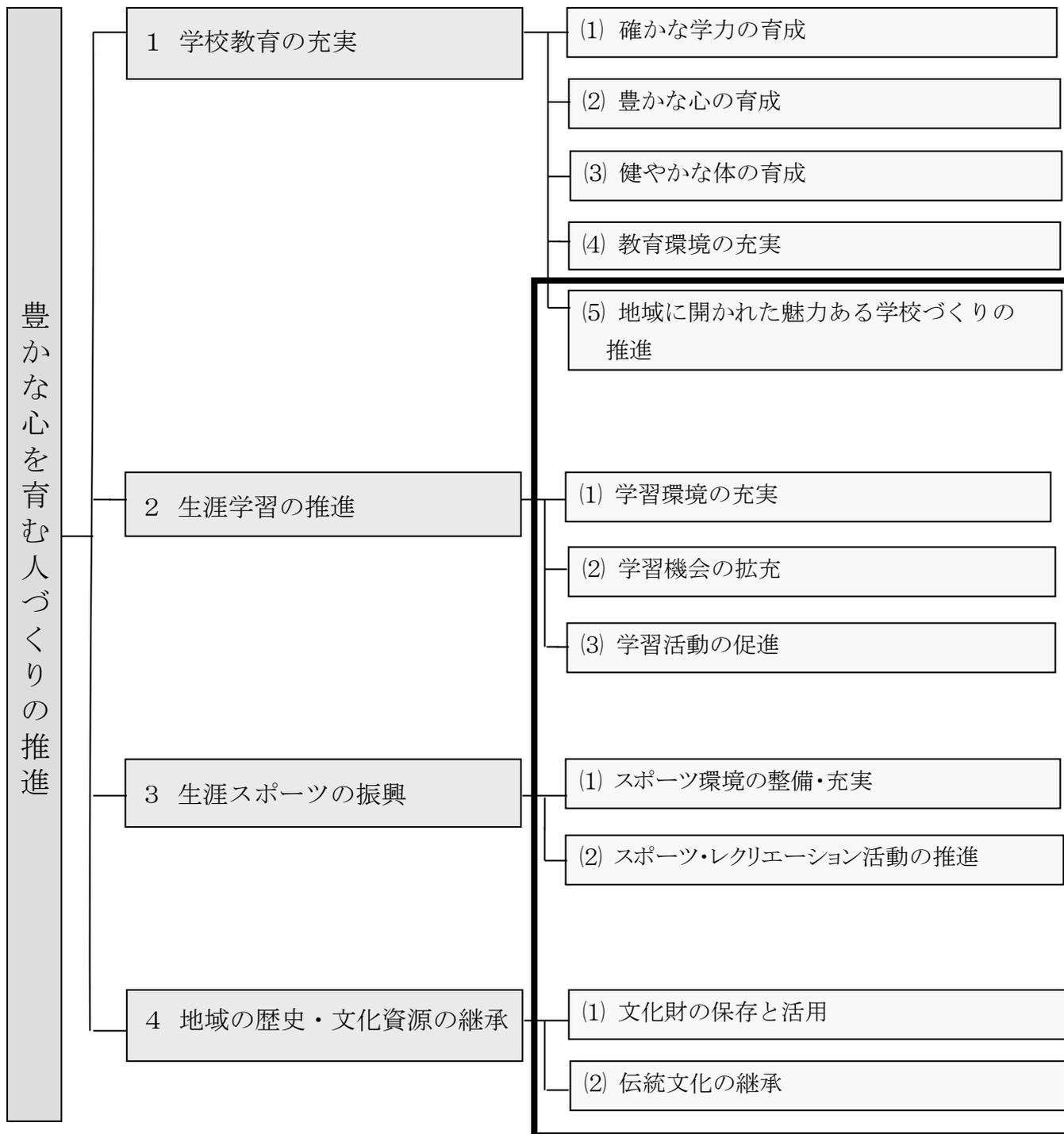
7 閉 会

大船渡市教育振興基本計画（令和3年度～令和7年度）の体系

【基本目標】

【施策の基本方向】

【基本事業】

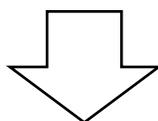


※ 社会教育関連事業

報告第1号 令和3年度生涯学習事業の実施状況について

施策1 学校教育の充実

基本事業 (5)地域に開かれた魅力ある学校づくりの推進	イ 地域学校協働活動等の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働本部を設置し、地域住民の経験等を地域社会に生かし、学校と地域を結びつける人材を育成 ・地域学校協働本部は地域密着型の活動拠点として、学校支援や学習支援など教育活動に参画し、学校を核とした地域づくりを推進 ・地域の協力により多様な体験・活動を充実し、児童生徒が安全に過ごせるように支援 		
主な取組事項	担当	実施時期	取組内容
地域学校協働本部事業	生涯学習課	通年	スクールガード、地域コーディネーター、地域ボランティアの配置による学校支援 ・スクールガード【11校31人】 ・学校支援ボランティア【図書支援10校8人、金管指導1校1人】 ・地域コーディネーター【1人（生涯学習課に配置）】



施策1 学校教育の充実

対象	意 図	成 果 指 標	目 標		
			R7	R1	R2
市内小中学校児童生徒	「知・徳・体」の調和が図られ、人間性豊かに成長する	「学校に行くのが楽しい」と答えた児童の割合（全国学力・学習状況調査）	90.0%	88.9%	-
		「学校に行くのが楽しい」と答えた生徒の割合（全国学力・学習状況調査）	85.0%	79.9%	-
※R2は新型コロナウイルス感染症の影響で「全国学力・学習状況調査」を実施せず					
総 括	<p>令和2年度で終了した補助制度（被災者支援総合交付金）に代わり、新たな補助制度（学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金）を活用し、地域学校協働本部事業を継続することができた。</p> <p>スクールガードの配置により、児童生徒の登下校時の安全が確保された。</p> <p>学校支援事業においては、地域コーディネーターを配置し、学校のニーズに合わせた図書支援ボランティア等の調整を行い、学習環境の整備が図られた。</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・クールの導入の取組とともに、地域と学校の連携協働により、社会全体の教育力の向上を図る仕組みづくり ・地域人材の確保 				

施策2 生涯学習の推進

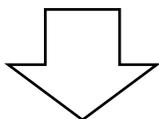
<p>基本事業 (1)学習環境の充実</p>	<p>ア 生涯学習活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設や市民文化会館、学校等を活用した生涯学習活動を推進 ・各施設の更なる利用促進 <p>イ 社会教育施設・設備の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・市民の多様なニーズに対応した社会教育施設・設備の充実 ・老朽化した社会教育施設の適切な維持管理 ・生涯学習活動の核となる市立公民館の学習環境の一層の充実 ・地域公民館の新築・改修等に係る支援の実施 ・市民の読書傾向等を踏まえ、多分野にわたる蔵書形成（図書館） ・市民への資料の提供や紹介等、レファレンスサービスの充実（図書館） ・国指定文化財や各種資料等の収集・適正な保存を図り、企画展示等による利用促進（博物館） </p> </p>		
<p>主な取組事項</p>	<p>担 当</p>	<p>実施時期</p>	<p>取 組 内 容</p>
<p>地域社会教育振興事業費補助事業</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>4～7月</p>	<p>市内11地区公民館に対して運営費補助金を交付(13,308,500円)</p>
<p>地域公民館整備事業費補助事業</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>通年</p>	<p>地域公民館の新築、修繕等に対して補助金を交付 (新築1館 5,000,000円、修繕1館 1,457,000円)</p>
<p>施設の維持管理業務の民間委託</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>通年</p>	<p>カメラアホール・三陸公民館の維持管理業務を指定管理者に委託</p>
<p>施設・設備の整備</p>	<p>中央公民館</p>	<p>通年</p>	<p>カメラアホール・三陸公民館・地区公民館の施設修繕等 <ul style="list-style-type: none"> ・カメラアホール1階トイレ換気扇交換 ・カメラアホール2階会議室ヒーターホース劣化修繕 ・三陸公民館東側擁壁修繕 ・三陸公民館自家用電気工作物修繕 ・三陸公民館ガスメーター交換 ・大船渡地区公民館太陽光発電設備修繕 ・大船渡地区公民館玄関及び1階ホール漏電修繕 ・立根地区公民館消防設備修繕 </p>
<p>施設・設備の維持管理</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>随時</p>	<p>施設の修繕、各種維持管理業務の委託等（市民文化会館と連動）</p>
<p>図書館資料の収集、整理保存</p>	<p>図書館</p>	<p>通年</p>	<p>図書館資料の受入・蔵書点検、図書資料ICタグ化</p>
<p>各種図書館サービスの実施</p>	<p>図書館</p>	<p>通年</p>	<p>レファレンスサービス、複写サービス等</p>
<p>施設・設備の維持管理</p>	<p>博物館</p>	<p>通年</p>	<p>施設・設備の修繕、各種維持管理業務の委託</p>
<p>基本事業 (2)学習機会の拡充</p>	<p>ア 魅力ある学習プログラムの提供 <ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化に伴う課題や市民の多様なニーズを把握し、魅力ある学習プログラムを提供 ・生涯学習関連情報を収集・周知 <p>イ 世代に応じた講座等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代を対象に、家庭教育や子育てに関するセミナーを開催 ・若者の郷土愛や地域の絆を醸成し、青少年の体験活動などの機会を提供 ・高齢者学級等の充実 <p>ウ 施設の特徴を生かした学びの提供 <ul style="list-style-type: none"> ＜市立公民館＞ <ul style="list-style-type: none"> ・連携協定を締結している大学や地域の各種団体との連携、リカレント教育の視点を取り入れ学習ニーズや地域課題に対応した各種講座の開催 ・学びを支える人材の育成と指導者の充実 ＜図書館＞ <ul style="list-style-type: none"> ・各世代を対象とした多分野の企画展や読書会の企画運営 ・低年齢層を対象とした読み聞かせ会の開催 ・移動図書館車で市内を巡回 ＜博物館＞ <ul style="list-style-type: none"> ・各分野の企画展や体験ワークショップの開催、市ホームページで収蔵品を公開 </p> </p></p>		
<p>主な取組事項</p>	<p>担 当</p>	<p>実施時期</p>	<p>取 組 内 容</p>
<p>生涯学習情報の提供</p>	<p>各課・館</p>	<p>通年</p>	<p>いきいきカレンダー作成、市HP・広報・LINE・ツイッターによる提供</p>

主な取組事項	担 当	実施時期	取 組 内 容
岩手県公民館大会・岩手県社会教育委員研究大会（気仙大会）	生涯学習課	12月	県内の社会教育関係者が集い、日頃の実践を踏まえた研究協議を行い、情報共有と今後の社会教育のあり方を考える研究大会を開催 ※新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催
生きがいセミナー	中央公民館	5～12月	高齢者の生きがいや教養の向上に資するため学習会を開催 ・市内11地区で学習会（健康、交通安全、郷土史、ニュースポーツ等）を実施【入学生573人、延べ参加人数897人】
地区連携講座		6～3月	各地区公民館と連携し、地区住民を対象に地域課題等に関する学習会を開催 ・市内8地区で学習会（文化講演会、グラウンドゴルフ）を実施【延べ参加人数171人】
市民講座		1～2月	大学等と連携し、共通テーマに関する専門的分野（国際交流を含む）の学習機会を提供 ・明治大学連携講座「好感度アップ！話し方講座」（全3回）【延べ参加人数59人】 ・明治大学連携講座「人を大切にする働き方・働かせ方」（全2回）【延べ参加人数36人】 ・北里大学市民公開講座（企画調整課との共同開催）講演「海と陸の海藻の話」「海に暮らすちょっと変わった動物たち」【参加人数80人】
家庭教育学級		10～12月	子どもの成長期における家庭や地域が果たす教育的役割や、課題等に関する学習機会を提供する（小中学校、こども園等で開催） ・小学校、中学校及び保育園6箇所で学習会等を実施【延べ参加人数515人】
青少年体験学習事業		7～12月	子どもたちの自主的な活動の促進と健全育成のため様々な体験学習の機会を提供するとともに、国際コミュニケーション能力の育成や国際理解の増進を目的とした英語スクールを実施 ・小中学生と保護者を対象とした陶芸体験教室を実施【参加人数10組21人】 ・小中学生と保護者を対象としたドローンプログラミング体験教室を実施【参加人数16組32人】 ・年中～小学2年生と保護者を対象とした英語体験教室を実施【参加人数28組60人】
成人向け国際交流講座		6～7月	市民の国際コミュニケーション能力向上を目的とした講座を開催 ・初級者向けの英会話講座（全5回）を実施【延べ参加人数64人】
市民IT講座		9～2月	IT活用力を強化することを目的とした初級者向けIT講座を開催 ・やさしいスマホ教室第1期（全5回）を実施【延べ参加人数96人】 ・やさしいスマホ教室第2期（全5回）を実施【延べ参加人数73人】
おはなしパレード		図書館	通年
ブックスタート事業	通年		7か月児健康相談の際、絵本をプレゼントするなど、乳児期からの本と触れ合う機会の提供（毎月）
おたのしみ親子劇場	12月		子どもと保護者を対象とした読書ボランティアによる公演
読書会	随時		各世代を対象とした読書会等を開催
図書館資料の展示	通年		読書週間等との連動や、市各部署・各団体等と連携するなど、時宜に応じて多分野にわたる企画図書展等の開催（29回）
「読書週間」等連携事業	年3回		「読書週間」「こどもの読書週間」「岩手の読書週間」の開催に併せ、連携事業を実施
図書館資料の供用	通年		図書資料等の閲覧、貸出
移動図書館車の巡回	通年		小中学校及び遠隔地住民等への図書館サービスの提供（毎月）
利用者アンケート	12～1月		図書館利用者等を対象に、施設満足度等アンケートを実施

主な取組事項	担 当	実施時期	取 組 内 容
職場体験・見学等の受入	図書館	随時	小学生生活科等の見学の受入（10校）、中堅教諭研修や大学生の図書館実習の受入
	博物館	随時	中学生の職場体験、大学生の博物館実習（7～8月、1人）、学校等の団体利用の受入
博物館教育普及事業	博物館	通年	教員のための博物館の日（7月、26人）、縄文土器制作会（7・8月、61人）、博物館スクール（5校、80人）

基本事業 (3)学習活動の促進	ア 学習活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習活動指導者の育成、確保 ・学習成果を生かし自主的な活動ができるよう支援し、学習成果の発表機会を創出 ・地区公民館長や地域公民館長を対象とした研修を実施 ・生涯学習情報紙の発行やインターネットの活用等により、生涯学習情報を発信 ・市民活動団体、高等教育機関や企業等との連携促進
	イ 文化芸術活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術活動の活性化や人材育成を支援し、情報収集・発信を実施 ・新たな参加団体を掘り起こしながら市民芸術祭を実施 ・小・中学校に芸術家などを派遣するなど文化芸術に親しむ機会の充実 ・地区公民館における文化祭の開催を支援 ・各種文化芸術行事の企画・実施に、市民や市民活動団体の参画を促進

主な取組事項	担 当	実施時期	取 組 内 容
社会教育関係団体活動支援事業	生涯学習課	4～10月	各種社会教育団体等への補助金交付 （地域婦人団体連絡協議会165,000円、PTA連合会62,000円）
市民芸術祭		5～3月	実行委員会を組織し各種部門の舞台発表、展示等を開催 【洋舞、器楽など11部門、13事業実施】 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、茶道など3部門3事業が中止。
児童生徒芸術文化鑑賞		中止	市内全小学校5、6年生を対象に「楽しい音楽会」（仮称） 〔新型コロナウイルス感染症の影響により中止〕

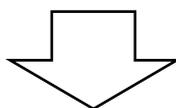


施策2 生涯学習の推進

対 象	意 図	成 果 指 標	目 標	実 績	
			R7	R1	R2
市民	主体的に学ぶことを通じて自己実現を図る	「日頃、何らかの学習活動に取り組んでいる」と答えた市民の割合（市民意識調査）	40.0%	19.7%	16.0%
		「日頃、生涯学習活動で学んだ成果を生かしている」と答えた市民の割合（市民意識調査）	60.0%	49.2%	63.1%
総 括	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、生涯学習関連講座等が一部中止や変更になったが、感染対策に取り組み、開催手法を工夫しながら事業を実施することができた。</p> <p>特にウイズコロナにおける新しい生活様式の対応が求められる中、IT講座の申込みが昨年度に引き続き多数あることや、図書館図書の情報化など、市民の生活やニーズの変化とともにデジタル化が大きく進む傾向にある。</p> <p>このような中、主体的に学習に取り組む市民の割合が低いことから、上記を踏まえ、より一層ニーズに応じた学習機会の提供を図る必要がある。</p> <p>文化芸術活動については、2年ぶりに市民芸術祭を開催し、コロナ禍で低下が懸念されていた市民の創作意欲、活動意欲を高めることができた。</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における公民館主催事業の実施や各施設の利用促進 ・生涯学習環境や情報の充実 ・文化芸術活動の促進のための人材育成 				

施策3 生涯スポーツの振興

基本事業 (1)スポーツ環境の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に安全かつ気軽にスポーツ・レクリエーションに親しんでもらう環境づくりを推進する。 ・スポーツ施設の適切かつ効率的な運営と利便性の向上を図る。 		
主な取組事項	担 当	実施時期	取 組 内 容
スポーツ施設整備事業	生涯学習課	7～8月	市営球場ウォーニングゾーン修繕
		10～1月	三陸B&G海洋センターLED化工事
		12～3月	三陸B&G海洋センタートイレ改修工事
スポーツ施設等管理運営業務委託		通年	市内スポーツ13施設：(一財)大船渡市体育協会
学校体育施設開放事業		通年	市内小中学校(15校)のグラウンドや体育館を市民に開放
基本事業 (2)スポーツ・レクリエーション活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財団法人大船渡市体育協会やスポーツ推進委員、学校体育関係団体などと連携して、スポーツ・レクリエーションの推進体制の整備・充実を図るとともに、指導者の養成・確保に努める。 ・ニュースポーツを取り入れた交流会や講演会、教室などを開催するとともに、各種スポーツ大会の開催支援やイベントの誘致などを推進する。 ・各種スポーツ大会などの開催に当たっては、交流人口の拡大にも配慮して取り組む。 		
主な取組事項	担 当	実施時期	取 組 内 容
各種研修会参加事業	生涯学習課	7～9月	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
市民体育大会の開催		5月～	柔道、グラウンド・ゴルフ、テニス、卓球、ゲートボールなど9種目の競技を開催 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、軟式野球、フットサル、バレーボールを中止とした。
スポーツ教室の開催		5月～	陸上競技やグラウンド・ゴルフ、テニス、スキーのほか、スポーツ体験会など6種目のスポーツ教室を開催 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、柔道を中止とした。
大船渡アスリート応援団		通年	佐々木朗希選手をモデルケースとして、当市ゆかりのアスリートを応援・激励
大船渡ポートサイドバレーボール大会の開催		3月	バレーボール大会の事前準備、当日の大会運営 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
スポーツ推進審議会		10月、3月	スポーツ推進計画の評価・検証及び今後のスポーツ振興のあり方などについて協議
復興「ありがとう」ホストタウン事業		6～9月	3×3 OFUNATO CUP、在日米陸軍軍楽隊による七夕コンサート、東京2020大会米国代表など陸上選手・コーチとのオンライン交流会の実施
大船渡新春四大マラソン大会の開催		中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止



施策3 生涯スポーツの振興

対象	意 図	成 果 指 標	目 標		
			R7	R1	R2
市民	生涯にわたってスポーツに親しむ	「日頃から継続して何かスポーツを行っている」と答えた市民の割合（市民意識調査）	19.0%	15.9%	15.2%
		市民一人が一年間にスポーツ施設を利用する回数（生涯学習課業務取得）	8.0回	7.5回	6.0回
		スポーツクラブ等の登録者数（生涯学習課業務取得）	1,300人	1,274人	1,243人
総 括	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業で中止や延期、開催手法の変更を余儀なくされた。特に、当市の一大スポーツイベントである大船渡新春四大マラソン大会は、3年連続で中止となり、競技者のみならず、関係人口の創出や市内経済への波及効果にも大きな影響を及ぼした。</p> <p>また、岩手緊急事態宣言の2度にわたる発出を受け、スポーツ少年団を始めとする市内スポーツ関係団体の活動を一定程度制限せざるを得ない等、スポーツを取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いている。</p> <p>こうした中、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした復興「ありがとう」ホストタウン事業においては、感染症対策を万全に実施した上で対面形式や集会形式、オンライン形式等多様な手法でイベントを開催したことで、今後のイベントにも通じる開催ノウハウを取得することができた。</p> <p>新たな取組として、当市にゆかりのあるアスリートを応援・激励することを目的に「大船渡アスリート応援団」を設立し、佐々木朗希選手をモデルケースとしてSNSを活用した応援・激励を展開したほか、ニューイヤー駅伝に出場する当市ゆかりの選手に向けた応援動画の作成などに取り組んだ。</p> <p><課題> ・交流人口の拡大や市内への多面的な波及効果を目指した、関係団体などとの連携推進</p>				

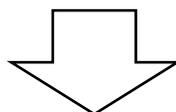
施策4 地域の歴史・文化資源の継承

基本事業 (1)文化財の保存と活用	ア 指定文化財等の保存と活用 ・文化財保存活用地域計画の策定を推進 ・重要文化財や史跡等の適切な管理、個人所有文化財の保存・管理の指導、助言 ・地域社会全体での保護と継承のため、体験活動や講演会を実施 ・重要な伝統文化の文化財指定や、民俗文化財・資料の調査整理、映像化による記録保存 イ 埋蔵文化財の保護 ・適切な発掘調査・試掘調査の実施、調査成果の報告書の作成、公開 ・出土品の適切な管理・保存、展示等による活用 ウ 博物館等における公開 ・地域の歴史や文化遺産、伝統文化に係る特別展や企画展を開催 ・収蔵資料の展示やインターネットでの発信により、交流人口の拡大を図る			
	主な取組事項	担 当	実施時期	取 組 内 容
	三陸国際芸術推進事業	教育総務課	4月～	三陸国際芸術推進委員会が実施する各種事業（三陸国際芸術祭等）への支援（情報提供等）
	埋蔵文化財発掘調査		4月～	・個人住宅建設等及び市公共事業に係る発掘調査 ・各発掘調査の室内整理作業
開発行為に係る埋蔵文化財の保護指導	随時		・事業者、事業担当部署からの開発行為に係る埋蔵文化財包蔵地の該当の有無照会への対応 ・必要に応じて、工事立会、試掘等を行い、調査の必要の有無などを確認	
地域の特色を活かした埋蔵文化財活用事業	博物館 教育総務課	7月～8月 4月～	埋蔵文化財普及啓発のための体験学習 文化財めぐり、埋蔵文化財台帳整理等	

主な取組事項	担 当	実施時期	取 組 内 容
資料の収集・提供	図書館	通年	郷土資料等の収集・保存及び閲覧・貸出等
博物館収集保管事業	博物館	通年	資料の収集・整理・保管（随時）、収蔵庫等の密閉燻蒸（9～10月）、資料整理計画の策定等、資料のインターネットでの公開
博物館調査研究事業		通年	気仙地域ジオサイト調査等
博物館展示事業		通年	特別展「津波災害からの復興～東日本大震災から10年、チリ地震津波から61年の記録～」（R3.2月～10月、3,328人）、特別展「おおほらの海と陸―大洞貝塚国史跡指定20周年―」（12～3月）、三陸ジオパークコーナー（通年）、人骨（頭骨）レプリカの作製（6～10月）

基本事業 (2)伝統文化の継承	ア 伝統文化の継承		
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史や伝統文化に触れ親しむ機会の創出と、文化を学び育てる取組の推進 ・多彩な伝統文化の発表の場を確保し、交流機会の拡充を図る ・大船渡市郷土芸能協会など民俗芸能活動団体への支援 ・市外の民俗芸能との交流イベントにより、伝統文化の周知と交流人口の拡大を図る 		
	イ 後継者の育成と記録保存		
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財思想の普及啓発、民俗芸能団体等への情報提供や相談体制等の拡充 ・地域や団体と連携・協力し、民俗芸能に係る後継者や指導者を確保・育成 		

主な取組事項	担 当	実施時期	取 組 内 容
吉浜のスネカへの支援	教育総務課	1月	行事での報道機関や照会等に対応 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止
文化遺産総合活用推進事業		4月～	大船渡市郷土芸能活性化事業実行委員会による国庫補助事業申請に伴い、前年度実績報告、今年度申請書類・計画等について指導



施策4 地域の歴史・文化資源の継承

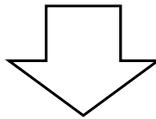
対 象	意 図	成 果 指 標	目 標	実 績	
			R7	R1	R2
市民	郷土の伝統や文化を知り、郷土に誇りと愛着を持つ	「郷土の伝統文化や文化財を大切にしたい」と答えた市民の割合（市民意識調査）	80.0%	73.2%	73.1%
総 括	<p>国、県、市の指定文化財については、各所有者のもと適正な保護管理が行われている。また、文化財の保護思想の普及・啓発に努めるとともに、文化財に対する理解と関心を深めるため、博物館等において、文化財の一般公開や各種イベントを実施している。</p> <p>市内の遺跡で行われる各種の開発行為に伴い、記録保存のための発掘調査と整理作業を実施している。また、その成果は報告書にまとめて関係機関に配布し、広く公開している。近年では、史跡内容確認調査や復興関連調査などの成果が蓄積されているため、各種の普及事業を通じて積極的な活用を図っている。埋蔵文化財活用事業として実施している「文化財めぐり」では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、通常のようにバスを利用せず徒歩で国史跡大洞貝塚を案内し、参加者から好意的な反応が得られた。</p> <p>民俗芸能の伝承については、震災後、改めてその価値が見直されるとともに、地域外の人々の参画や他地域との交流など、新たな取組がなされている。</p> <p>震災後、被災により継承が危ぶまれた民俗芸能保存団体も多く見られたが、全国からの支援を受け再生に取り組んだ結果、郷土の伝統文化の価値を再確認し、大切に保存・伝承しようという動きが活発化した。</p> <p>ユネスコ無形文化遺産に登録されている「吉浜のスネカ」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を考慮し、行事を中止することとなった。このような状況の中、博物館におけるスネカ装束の展示や行事に関する照会に対応した。</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財をはじめとした地域の様々な歴史・文化資源の継承と地域資源としての位置づけ ・少子高齢化・人口減少が進行する社会情勢を踏まえた、民俗芸能の後継者確保対策の充実 ・文化財を活用した市の魅力発信や交流人口拡大のための取組の拡充 				

大船渡市総合計画前期基本計画

施策の大綱（政策）2 安心が確保されたまちづくりの推進

施策6 とともに支えあう地域づくりの推進

基本事業 ⑤青少年健全育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関・団体等と情報共有や連携を図りながら各種事業を展開し、地域全体で青少年の非行防止と健全育成を推進 地区公民館、PTAなど自主的な活動を支援し、地区・地域が一体となって青少年の健全育成を図る教育振興運動を推進 		
主な取組事項	担当	実施時期	取組内容
教育振興運動	生涯学習課	通年	教育振興運動実践区活動支援
成人式		1月	成人としての自覚を啓発 式典の開催のほか、特設ホームページを開設し、ライブ配信、成人式実行委員会委員作動画等を掲載 【新成人参加者270人】
わたしの主張気仙地区大会		8月	気仙管内各中学校からの推薦者による発表。新型コロナウイルス感染症の影響により、発表の映像による審査会を実施。 【市内4校4人発表】



大船渡市総合計画前期基本計画

施策の大綱（政策）2 安心が確保されたまちづくりの推進

施策6 とともに支えあう地域づくりの推進

対象	意 図	成果指標	目標 実績		
			R7	R1	R2
市民	地域で互いに支え合う。住民の主体的な活動がなされる。	「何事も助け合える地域である」と答えた市民の割合（市民意識調査）	50.0%	45.9%	44.8%
		「支援が必要な人に対して、手助けしたいと思っている」と答えた市民の割合（市民意識調査）	80.0%	69.0%	66.6%
		「住民主体の地区・地域活動、まちづくり活動が活発に行われている」と答えた市民の割合（市民意識調査）	30.0%	17.2%	27.8%
総 括	<p>教育振興運動では、全県共通課題である「情報メディアとの上手な付き合い方」を中心に、地域・学校・家庭が連携して教育課題に取り組むことにより、地域全体での子どもたちの育成とつながりづくりの推進が図られた。</p> <p>成人式は、新型コロナウイルスの感染対策のため、オンラインの活用など新しい開催方法を講じて実施し、新成人において、大人としての責任と地域社会の一員として貢献する意識の醸成が図られた。</p> <p>「わたしの主張」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、参集しての開催はできなかったが、発表の録画映像により審査会を実施し、中学生が地域社会との関わりについて考える契機となった。</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ぐるみで地域の教育課題の解決に取り組む教育振興運動を継続して推進するため、関わりを持つ地域住民の拡充 学校統合やコミュニティ・スクール導入を見据え、教育振興運動の体制の見直し 				

議案第1号 令和4年度社会教育関係団体への補助金交付について

令和4年度に社会教育関係団体に交付しようとする補助金について、社会教育法第13条の規定により、社会教育委員会議の意見を求めます。

令和4年3月25日

大船渡市教育委員会

教育長 小松伸也

社会教育法 抜粋

(審議会等への諮問)

第13条 国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあつては文部科学大臣が審議会等（国家行政組織法（昭和23年法律第120号）第8条に規定する機関をいう。第51条第3項において同じ。）で政令で定めるものの、地方公共団体にあつては教育委員会が社会教育委員の会議（社会教育委員が置かれていない場合には、条例で定めるところにより社会教育に係る補助金の交付に関する事項を調査審議する審議会その他の合議制の機関）の意見を聴いて行わなければならない。

令和4年度社会教育関係団体への補助金交付一覧表

補助金の名称	交付先団体名等
① 地域社会教育振興事業費補助金	各地区公民館
② 地域公民館整備事業費補助金	各地域公民館
③ 社会教育団体等育成補助金	大船渡市地域婦人団体連絡協議会
	大船渡市PTA連合会
④ 大船渡市芸術文化協会育成費補助金	大船渡市芸術文化協会
⑤ 大船渡市郷土芸能協会育成費補助金	大船渡市郷土芸能協会

議案第2号 令和4年度生涯学習事業計画（案）について

施策1 学校教育の充実

基本事業 (5)地域に開かれた魅力ある学校づくりの推進	イ 地域学校協働活動等の推進		
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働本部を設置し、地域住民の経験等を地域社会に生かし、学校と地域を結びつける人材を育成 ・地域学校協働本部は地域密着型の活動拠点として、学校支援や学習支援など教育活動に参画し、学校を核とした地域づくりを推進 ・地域の協力により多様な体験・活動を充実し、児童生徒が安全に過ごせるように支援 		
主な取組事項	担当	実施時期	取組内容
地域学校協働本部事業	生涯学習課	通年	スクールガード、地域コーディネーター、地域ボランティアの配置による学校支援

施策2 生涯学習の推進

基本事業 (1)学習環境の充実	ア 生涯学習活動の推進		
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設や市民文化会館、学校等を活用した生涯学習活動を推進 ・各施設の更なる利用促進 		
	イ 社会教育施設・設備の整備		
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の多様なニーズに対応した社会教育施設・設備の充実 ・老朽化した社会教育施設の適切な維持管理 ・生涯学習活動の核となる市立公民館の学習環境の一層の充実 ・地域公民館の新築・改修等に係る支援の実施 ・指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上と効率的・効果的な施設運営を図るとともに、市民の読書傾向等を踏まえ、多分野にわたる蔵書形成（図書館） ・市民への資料の提供や紹介等、レファレンスサービスを充実（図書館） ・国指定文化財や各種資料等の収集・適正な保存を図り、企画展示等による利用促進（博物館） 		
主な取組事項	担当	実施時期	取組内容
地域社会教育振興事業費補助事業	生涯学習課	4～6月	市内11地区公民館に対して運営費補助金を交付
地域公民館整備事業費補助事業		通年	地域公民館の新築、修繕等に対して補助金を交付
施設の維持管理業務の民間委託	中央公民館	通年	カメラアホール・三陸公民館の維持管理業務を指定管理者に委託
施設・設備の整備		通年	カメラアホール・三陸公民館・地区公民館の施設修繕等 ・カメラアホール多目的ホールワイヤレス機器更新 ・大船渡地区公民館ワイヤレス機器更新 ・三陸公民館大ホールH I Dランプ交換
施設・設備の維持管理	図書館	随時	施設の修繕、各種維持管理業務の委託等（市民文化会館と連動）
図書館資料の収集、整理保存		通年	図書館資料の受入・蔵書点検
各種図書館サービスの実施		通年	レファレンスサービス、複写サービス等
施設・設備の維持管理	博物館	通年	施設・設備の修繕、各種維持管理業務の委託、多目的ホール映像音響機器更新

基本事業 (2)学習機会の拡充	ア 魅力ある学習プログラムの提供 ・ 社会の変化に伴う課題や市民の多様なニーズを把握し、魅力ある学習プログラムを提供 ・ 生涯学習関連情報を収集・周知 イ 世代に応じた講座等の実施 ・ 子育て世代を対象に、家庭教育や子育てに関するセミナーを開催 ・ 若者の郷土愛や地域の絆を醸成し、青少年の体験活動などの機会を提供 ・ 高齢者学級等の充実 ウ 施設の特色を生かした学びの提供 <市立公民館> ・ 連携協定を締結している大学や地域の各種団体との連携、リカレント教育の視点を取り入れ学習ニーズや地域課題に対応した各種講座の開催 ・ 学びを支える人材の育成と指導者の充実 <図書館> ・ 各世代を対象とした多分野の企画展や読書会の企画運営 ・ 低年齢層を対象とした読み聞かせ会の開催 ・ 移動図書館車で市内を巡回 <博物館> ・ 各分野の企画展や体験ワークショップの開催、市ホームページで収蔵品を公開		
	主な取組事項	担当	実施時期
生涯学習情報の提供	各課・館	通年	いきいきカレンダー作成、市HP・広報・LINE・ツイッターによる提供
生きがいセミナー	中央公民館	5～12月	高齢者の生きがいや教養の向上に資するため学習会を開催
地区連携講座		5～3月	各地区公民館と連携し、地区住民を対象に地域課題等に関する学習会を開催
市民講座		7～2月	大学等と連携し、共通テーマに関する専門的分野（国際交流を含む）の学習機会を提供
家庭教育学級		6～2月	子どもの成長期における家庭や地域が果たす教育的役割や、課題等に関する学習機会を提供する（小中学校、こども園等で開催）
青少年体験学習事業		6～1月	子どもたちの自主的な活動の促進と健全育成のため様々な体験学習の機会を提供するとともに、国際コミュニケーション能力の育成や国際理解の増進を目的とした英語体験教室を実施
市民IT講座		7～2月	IT活用力を強化することを目的とした初級者向けIT講座を開催
おはなしパレード		通年	未就学児・児童等を対象とした絵本の読み聞かせ等のおはなし会の開催（月2回）
ブックスタート事業	通年	7・8カ月児健康相談の際、絵本をプレゼントするなど、乳児期からの本と触れ合う機会の提供（隔月）	
おたのしみ親子劇場	12月	子どもと保護者を対象とした読書ボランティアと人形劇グループによる公演	
読書会	随時	各世代を対象とした読書会等を開催	
図書館資料の展示	図書館	通年	読書週間等との連動や、市各部署・各団体等と連携するなど、時宜に応じて多分野にわたる企画図書展等の開催
講座等読書推進関連事業	随時	市民ニーズを踏まえた講座等の開催	
「読書週間」等連携事業	年3回	「読書週間」「こどもの読書週間」「岩手の読書週間」の開催に併せ、連携事業を実施	
図書館資料の供用	通年	図書の閲覧、貸出	
移動図書館車の巡回	通年	小中学校及び遠隔地住民等への図書館サービスの提供	
読書推進事業	通年	指定管理者による読書推進等自主事業の実施	
職場体験・見学等の受入	図書館	随時	中学生・高校生等の職場体験の受入、小学生生活科等の見学の受入
	博物館	随時	中学生・高校生の職場体験、大学生の博物館実習、学校等の団体利用の受入
博物館教育普及事業	博物館	通年	海辺の生物観察会（7月）、教員のための博物館の日（7月）、勾玉製作会（11月）、博物館スクール（随時）

基本事業 (3)学習活動の促進	ア 学習活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習活動指導者の育成、確保 ・学習成果を生かし自主的な活動ができるよう支援し、学習成果の発表機会を創出 ・地区公民館長や地域公民館長を対象とした研修を実施 ・生涯学習情報紙の発行やインターネットの活用等により、生涯学習情報を発信 ・市民活動団体、高等教育機関や企業等との連携促進 			
	イ 文化芸術活動の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術活動の活性化や人材育成を支援し、情報収集・発信を実施 ・新たな参加団体を掘り起こしながら市民芸術祭を実施 ・小・中学校に芸術家などを派遣するなど文化芸術に親しむ機会の充実 ・地区公民館における文化祭の開催を支援 ・各種文化芸術行事の企画・実施に、市民や市民活動団体の参画を促進 			
	主な取組事項	担 当	実施時期	取 組 内 容
	社会教育関係団体活動支援事業	生涯学習課	4～6月	各種社会教育団体等への補助金（負担金）交付
市民芸術祭	5～3月		実行委員会を組織し各種部門の舞台発表、展示等を開催	
児童生徒芸術文化鑑賞	10月		市内全小学校5、6年生を対象に「在日米陸軍軍楽隊コンサート」を開催	

施策3 生涯スポーツの振興

基本事業 (1)スポーツ環境の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に安全かつ気軽にスポーツ・レクリエーションに親しんでもらう環境づくりを推進する。 ・スポーツ施設の適切かつ効率的な運営と利便性の向上を図る。 			
	主な取組事項	担 当	実施時期	取 組 内 容
	施設整備事業	生涯学習課	5～3月	市民体育館空調設備工事
	スポーツ施設等管理運営業務委託		通年	市内スポーツ13施設：（一財）大船渡市体育協会
学校体育施設開放事業	通年		市内小中学校（15校）のグラウンドや体育館を市民に開放	
基本事業 (2)スポーツ・レクリエーション活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財団法人 大船渡市体育協会やスポーツ推進委員、学校体育関係団体などと連携して、スポーツ・レクリエーションの推進体制の整備・充実を図るとともに、指導者の養成・確保に努める。 ・ニュースポーツを取り入れた交流会や講演会、教室などを開催するとともに、各種スポーツ大会の開催支援やイベントの誘致などを推進する。 ・各種スポーツ大会などの開催に当たっては、交流人口の拡大にも配慮して取り組む。 			
	主な取組事項	担 当	実施時期	取 組 内 容
	各種研修会参加事業	生涯学習課	7～9月	気仙地区、岩手県及び東北地区のスポーツ推進委員研修会参加
	市民体育大会の開催		6月～	柔道、グラウンド・ゴルフ、テニス、卓球、ゲートボールなど15種目程度の競技を開催
スポーツ教室の開催	5月～		陸上競技やグラウンド・ゴルフ、テニス、スキーのほか、スポーツ体験会など10種目程度のスポーツ教室を開催	
大船渡新春四大マラソン大会の開催	1月		マラソン大会の事前準備、当日の大会運営	
スポーツ交流推進事業	通年		スポーツ合宿の誘致や子どもたちと著名なアスリートとの交流イベントなどを開催 日本スポーツマスターズ2022岩手大会軟式野球競技開催に伴うおもてなしイベントなどを開催	
大船渡アスリート応援団	通年		SNSを活用した応援のほか、プロ野球本拠地球場での協賛試合を開催	
大船渡ポートサイドバレーボール大会の開催	9月		バレーボール大会の事前準備、当日の大会運営	
スポーツ推進審議会	年2回		スポーツ推進計画の評価・検証及び今後のスポーツ振興のあり方などについて協議	
東京2020オリンピックレガシー継承事業	通年		3×3 OFUNATO CUP、米国陸上選手・コーチとのオンライン交流会の実施	

施策4 地域の歴史・文化資源の継承

基本事業 (1)文化財の保存と活用	ア 指定文化財等の保存と活用 <ul style="list-style-type: none"> 文化財保存活用地域計画の策定を推進 重要文化財や史跡等の適切な管理、個人所有文化財の保存・管理の指導、助言 地域社会全体での保護と継承のため、体験活動や講演会を実施 重要な伝統文化の文化財指定や、民俗文化財・資料の調査整理、映像化による記録保存 		
	イ 埋蔵文化財の保護 <ul style="list-style-type: none"> 適切な発掘調査・試掘調査の実施、調査成果の報告書の作成、公開 出土品の適切な管理・保存、展示等による活用 		
ウ 博物館等における公開 <ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史や文化遺産、伝統文化に係る特別展や企画展を開催 収蔵資料の展示やインターネットでの発信により、交流人口の拡大を図る 			
主な取組事項	担 当	実施時期	取 組 内 容
三陸国際芸術推進事業	教育総務課	未定	三陸国際芸術推進委員会が実施する各種事業（三陸国際芸術祭等）への支援（情報提供等）
埋蔵文化財発掘調査		4月～	個人住宅建設等及び市公共事業に係る発掘調査 各発掘調査の室内整理作業
開発行為に係る埋蔵文化財の保護指導		随時	事業者、事業担当部署からの開発行為に係る埋蔵文化財包蔵地の該当の有無照会への対応 必要に応じて、工事立会、試掘等を行い、調査の必要の有無などを確認
地域の特色を活かした埋蔵文化財活用事業	博物館 教育総務課	4月～	埋蔵文化財普及啓発のための体験学習、文化財めぐり、埋蔵文化財台帳整理等
資料の収集・提供	図書館	通年	郷土資料等の収集・保存及び閲覧・貸出等
博物館収集保管事業	博物館	通年	資料の収集・整理・保管（随時）、収蔵庫等の密閉燻蒸（9～10月）、資料整理計画の策定等、資料のインターネットでの公開
博物館調査研究事業		通年	気仙地域出土資料調査、気仙地域ジオサイト調査等
博物館展示事業		通年	開館40周年記念展示（6月～12月）、考古関係展示（1月）、三陸ジオパークコーナー（通年）
基本事業 (2)伝統文化の継承	ア 伝統文化の継承 <ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史や伝統文化に触れ親しむ機会の創出と、文化を学び育てる取組の推進 多彩な伝統文化の発表の場を確保し、交流機会の拡充を図る 大船渡市郷土芸能協会など民俗芸能活動団体への支援 市外の民俗芸能との交流イベントにより、伝統文化の周知と交流人口の拡大を図る 		
	イ 後継者の育成と記録保存 <ul style="list-style-type: none"> 文化財思想の普及啓発、民俗芸能団体等への情報提供や相談体制等の拡充 地域や団体と連携・協力し、民俗芸能に係る後継者や指導者を確保・育成 		
主な取組事項	担 当	実施時期	取 組 内 容
吉浜のスネカへの支援	教育総務課	1月	行事での報道機関や照会等に対応する
文化遺産総合活用推進事業		4月～	大船渡市郷土芸能活性化事業実行委員会による国庫補助事業申請に伴い、前年度実績報告、今年度申請書類・計画等について指導
こども郷土芸能まつり開催		未定	大船渡市こども郷土芸能まつりを開催（隔年）

大船渡市総合計画前期基本計画

施策の大綱（政策）2 安心が確保されたまちづくりの推進

施策6 とともに支えあう地域づくりの推進

基本事業 ⑤青少年健全育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関・団体等と情報共有や連携を図りながら各種事業を展開し、地域全体で青少年の非行防止と健全育成を推進 地区公民館、PTAなど自主的な活動を支援し、地区・地域が一体となって青少年の健全育成を図る教育振興運動を推進 		
	主な取組事項	担 当	実施時期
教育振興運動	生涯学習課	通年	教育振興運動関係者研修会開催、実践区活動支援
成人式		1月	成人としての自覚を啓発
わたしの主張気仙地区大会		9月	気仙管内各中学校からの推薦者による発表